

2/2 第5回 学校運営協議会

第5回の会議では、取り組んできた「義務教育9年間で目指す姿」が完成し、その最終的な確認が行われました。小学校1年生から中学校3年生までにつけたい力を段階的に示しています。また、地域の願いについて、学校運営協議会で出し合った意見が盛り込まれました。

後期の学校評価について、児童生徒、先生、保護者によるアンケートを共有し、現状と課題を確認しました。「子どもたちの人を思いやる気持ちなど、心の育ちをしっかり見取っていけるとよい」「小学校と中学校の評価アンケートの項目がバラバラなので共通項目を検討しては、9年間の目指す姿とのリンクを」などの意見がありました。最後に、今年度に行った、地域学校協働活動について、小学校からはクラブ活動等の地域講師の協力で様々な活動を行った報告、中学校からは、総合的な学習の時間やキャリア教育で地域ゲストを招いた報告がありました。



令和4年度 下川中学校グランドデザイン

| | |
|--|--|
| <p align="center">本校の教育目標</p> <p align="center">豊かな知性をもち たくましい意志でやりぬく生徒</p> | <p align="right">創造敬愛</p> |
| <p align="center">生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼貌的・詳しくおしゃべり ・「全國学力・学習態度調査」の結果は満足・全般平均並み ・豊富な学習力の発揮が不思議 ・自己表現力が高い ・自己成長意欲が高い ・問題意識を持つことが多い ・母語的・英語的双語化が得意 | <p align="center">義務教育9か年でめざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識・技術を身に付ける ・自分の行動に適応せらるる道徳的な価値観を身に付ける ・常に適切で正しい言葉・書き方を用いて相手の立場を理解する ・基本的な生活習慣を身に付けていく ・豊かな心・ソーシャルマーキットを実践しようとする |
| <p align="center">本年度の重点目標</p> <p align="center">友と語り 考え よりよい思考を導く生徒を育てる</p> | <p align="center">協働する生徒</p> |
| <p align="center">学力向上</p> <p align="center">[育成を目指す資質・能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識・基本の定着 ○学力 ○問題解決力 ・自分の言葉で書いて表現できる力 ・自分の言葉で説明ができる力 ○情報活用力、プレゼンテーション力 <p align="center">[指導の手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中連携した学習規律の徹底と授業展開 ○主体的・対話的で柔軟な学習 ○個人・集団による読書会・朗読会・朗誦会 ○放課後・休憩・入浴時間中の学習会 ○家庭学習の習慣化 | <p align="center">豊かな心</p> <p align="center">[育成を目指す資質・能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時と場所に応じた挨拶と身だしなみ ○問題解決力 ○規範意識と社会性 ○相手を思いやり相手の立場に立って考える柔軟性 <p align="center">[指導の手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心に寄り立てる生徒指導 ○達成感・有用感を醸しだすさせる指導 ○個別指導と集団指導 ○いじめ・不登校を未然に防ぐ個別的で多様な指導体制の確立 |
| <p align="center">たくましい心身</p> <p align="center">[育成を目指す資質・能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分自身の心の健康を保つ生活をおくる意識 ○自ら運営・運営する健康増進活動の意識 ○自己全応応能 <p align="center">[指導の手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自殺・暴行・乱用防止教室、情報活用教室、性教育による生き方教育 ○交通安全・配慮して日常生活指導 ○保健体育・運動選手などによる健康指導 | <p align="center">ESDとキャリア教育</p> <p align="center">持続可能な社会の創り手を育てる教育</p> <p align="center">[育成を目指す資質・能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根拠に基づき多面的・多角的に思考する力 ○対立と合意、効率と公正・協調、持続可能性に着目した課題追求力 <p align="center">[指導の手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教科・全領域におけるSDGs目標の導入 ○森林環境教育による環境型モデルの学習 ○キャリア教育による社会参画型の実験 |
| <p align="center">小中連携</p> <p align="center">○幼少の好み以上を意識した中学校教育</p> <p align="center">○9か年でめざす子どもへの姿の共有</p> <p align="center">○研究・研修、生徒指導等の一貫性</p> <p align="center">○下川町教育研究会を基本とする円滑な接続体制</p> | <p align="center">家庭・地域と連携した 下川を愛する生徒の育成</p> <p align="center">○地域の願いを受け、小学生や大人に朝られる中学生</p> <p align="center">○発展的・建設的な思考でふるさとの未来を語れる中学生</p> |

3/8 第6回 学校運営協議会を開催しました

今年度の最後の会議では、来年度の小学校、中学校の学校経営方針の説明とその承認が行われました。学校経営方針の承認は、学校運営協議会の中でも最も重要なことの一つです。小・中各部会で部屋を分かれ、オンラインでの参加も可能にすることで、感染症対策をしながら、多くの委員の皆さんに参加いただき、活発な意見や質疑が行われました。「不登校や特別支援のことなど、親としても学ばなくてはいけないことが多い。PTAとしても勉強会など開催できれば」という委員の発言に対し、「教育委員会が開催した特別支援の勉強会など既存の学びの場に保護者の皆様にも来てもらう方法もある」などの意見が交わされました。学校の現状を知り、保護者も地域も子どもたちのために何ができるのかと、来年度に向けて知恵を出し合う時間となりました。



2/23 第1回 地域共育ミーティングを開催しました

下川町の子どもたちの姿を共有し、気軽に声をかけ合い、連携し合える関係をつくることを目的に初めて開催しました。スタッフも含め30人で行われ、幼小中高の先生、地域で子どもたちに関わる団体等が参加。グループに分かれ、前半は、総合学習や子ども向けプログラムなどの活動紹介を行い、後半は、参加者から出された問い合わせから選択し、テーマに沿って子どもたちの現状や課題、解決アイディアなどを話し合いました。



PTAって何でいい?

保護者同士が
気軽に話し合える
機会をつくるには

子どもたちが健やかに
元気なからだの
基盤を作るための
学校と地域でできる
環境づくりとは?

活動始めに目標やスローガンを作ると、本当にみんながやりたいことに向かって活動がしやすいのかも。保護者が楽しみながらやることや、地域の人の参加も募っていくと活動が活発化したり、参加する層が広がったりするかも!」

放課後の 子どもたちの時間を 豊かなものにするには? まなびリストの活用アイディア

子どもたちが自分で放課後の過ごし方を選択できることが豊かさにつながるのではないか?自分の好きなことを見つけ、好きなことで、地域や社会とつながっていけるといいね。まなびパリストを子どもたちもそして先生、親も活用していこう

子育ての悩みを周囲に相談しにくいこともある。研修や講演会だけで終わらずに、その後に参加者同士が話をする時間を作ったりするのもいい。趣味のつながりなど、気軽な関係性をつくっていく中で、ちょっとした悩みが解決したりと気持ちが楽になることもあるかもしれません。

職業や役職にこられずに、
子どもを中心^{じゆ}にざっくばらんと
話^{はな}し合^あえ子関係^{こかんけい}を作^{つく}るには。

子どもは、「遊びたい、体を動かしたい」と思っても、「危ない」などの理由で大人が蓋をしていることが多い。成功しか褒めてもらえないという気持ちがあって、極端に失敗を恐れている子も…子どもたちがのびのび体を動かす機会を地域の大で見守れるといい

参加者の感想

自分が思っているよりずっと、地域の
人が子どもたちや学校を気にして
みてくれている事がわかりました

各機関の方々が周囲の情報や
アイディアを欲していることが
わかりました。このミーティングを
きっかけに常時連絡を取り合える
関係を多く築けたら嬉しいです。

本日は大きな第一歩だと思う。
今回話すことができない人もいた
ので、また開催してほしいです。
できれば定期的に!